

竜王北小学校・・・7月14日（水）訪問

訪問者：尾形 大

竜王北小学校は創立43年、竜王駅から徒歩15分の立地に位置する児童数460人ほどの大きな学校です。「創造性豊かな心身とたくましい子どもの育成」という教育目標実現のために教師・保護者・地域が一丸となって取り組んでいます。同校では現在6名の梨大生が教育ボランティアとして活動に取り組んでいます。

当日はお忙しいところをご対応くださった教頭の小山田先生に心より感謝申し上げます。

今回は給食後から午後の授業を中心に参観しました。当日は幼少発達教育コース2年生の亀井萌さんと渡邊梨乃さんの二人が1年生の教室で活動していました。児童と同じ高さの目線に立ちながら、個々の児童のペースにあわせて丁寧にサポートをしている様子が印象的でした。また、児童・クラス・学校にとって、彼らが安心してかかわることのできる温かくて頼もしい存在として受け入れられている様子がうかがえました。

【学生インタビュー】

「教育ボランティア活動を経験してよかったと思うこと」

○実際に児童たちと関わることができるので、大学の座学では感じる事ができない今の子どもたちや先生方の様子など学校現場を肌で感じられることです。1年生の頃から教育ボランティアを始めましたが、はじめは児童との関わり方が分からず上手くコミュニケーションをとることができませんでした。ボランティアの経験を重ねるにつれて児童の学年に応じた関わり方ができるようになってきました。（亀井萌さん）

○子どもたちと楽しく話すだけではなく、授業に集中することが難しい子や後れを取っている子に対して積極的に声をかけるなど、ボランティアの先生として模索しながら子どもたちと向き合っています。時に対応方法に迷いますが、そんな時はボランティア先の友人や現場の先生と話し合うこともできるので、失敗や過ちを犯しても、再挑戦して次の学びに生かすことができます。このように教育ボランティアでは、子どもとの関わり方について考えたことを実践することが経験できます。そのため、以前の私よりも積極的に子どもたちと関わることができ、自身の成長を感じています。（渡邊梨乃さん）



学習支援する亀井さんの様子

【小山田教頭先生のお話し】

竜王北小学校では昨年度から正式に教育ボランティアの受け入れを開始しました。学校側がサポートしてもらおうと同時に、学生が直接教育の現場にかかわり触れる経験をとおして、未来の教員としてよい経験、よい学びをしてもらいたいとの思いをもって学校全体で迎え入れています。

また、昨年9月に開催された運動会に終日参加してくれた学生がおり、授業以外の場面で児童と多面的・総合的に触れ合える機会を持てたことも素晴らしい経験だと思いました。

今後も長期的な活動を期待しています。